

テーマと講師：

(1)「AHP から ANP へ」 高橋 磐郎

AHP の特徴である固有ベクトル法の妥当性、階層構造をネットワーク構造に拡張した ANP と超行列、制約のない ANP の一般解法について解説した。

(2)「AHP と効用関数」 田村 坦之 (大阪大学)

効用理論の立場から見た AHP の位置付け、およびウエイトの総和を 1 に正規化する操作の問題点を解消し選好順位逆転現象を統合的にモデル化できる D-AHP について解説した。

順序となることを示した。一意性の保証により、このクラスにおける単調収束定理を導くことができた。

● ファジィ動的計画法 ●

・第 6 回

日 時：6 月 5 日 (月) 18:00~20:30

出席者：8 名

場 所：財日本科学技術連盟 1 号館 1 A 会議室

テーマと講師：

「ファジィ集合の順序づけと極限定理について」

中神 潤一 (千葉大学)

ファジィ決定理論における、1 次元ファジィ数の半順序であるファジィマックス順序についての簡単な概説を与え、これを n 次元ファジィ数 (凸ファジィ集合) の順序づけに拡張するため、新しい順序の定義を行った。次に n 元ファジィ数があるクラスに制限することにより、上記の順序が、このクラスにおいて半

会 合 記 録

6 月 22 日 (木)	表彰委員会	7 名
6 月 29 日 (木)	IAOR 委員会	6 名

会 員 訃 報

田中 謙輔氏 (新潟工科大学教授)

平成 12 年 6 月 18 日、すい臓ガンのためご逝去されました。享年 66 才。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

「OR 用語辞典」の刊行 (冊子体)

本学会創立 40 周年記念事業の一つである新編「OR 事典 2000」が発刊されましたが、この「OR 事典 2000」は、「基礎編・用語編・事例編・資料編」からなっております。「OR 用語辞典」は、そのうち「用語編」を冊子体としてまとめたものであります。OR を学ぶ学生や研究者・実務家が座右において活用できることを意図したもので、その利便性は、必ずやご期待に沿えるものと思えます。

(本書の内容)

OR に関連する用語約 1,600 語を取り上げ、それらに欧文訳と 200 字程度の簡潔な説明を付したものを五十音順に並べ、巻末には和文索引と欧文索引を付しています。

(発行所)

㈱日科技連出版社 (A 5 版・260 頁・本体価格 2,600 円)

(購入方法)

お近くの書店でお求め下さい。

本辞典ご購入についてのお問い合わせは、以下へ。

㈱日科技連出版社 TEL 03-5379-1238